

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	熊谷市
②事業名	(仮称) 道の駅「くまがや」整備事業
③本事業の現在の 検討ステージ	以下の中から本案件の検討ステージを選択してください。 1.事業発案 2.事業化検討 ③.事業者選定 4.その他()
④サウンディングの目的	本事業を知っていただくとともに、当道の駅のコンセプトである「日本を代表する“食”のテーマパーク」及び施設設計方針である「食×(かける)子ども」の実現に向けて、広く民間事業者の方からご意見をいただきたいと考えております。
⑤民間事業者に対する 質問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当道の駅は、「日本を代表する食のテーマパーク」「食×子ども」のコンセプトを実現するため、子ども達が安心して遊べる大型の室内あそび場(1,600㎡)を整備予定です。また、多目的室兼調理室として魅せるタイプの調理室も検討しており、このような導入機能でも独立採算として事業が成り立つかどうか御意見いただきたい。 ・地元事業者によく参画していただきたいが、代表若しくは構成企業として参画を検討する地元以外の事業者の方にとっては参画の障害となってしまうか否か。
⑥対話を希望する業種	①.設計 ②.建設 3.不動産 4.金融機関 ⑤.維持管理 ⑥.コンサルタント ⑦.運営(道の駅) 8.その他()
⑦対話を希望する事業者 の事業展開エリア	①.全国展開している事業者 ②.当該エリア外の事業者 ③.地元事業者 4.その他()

(2) 対象地		
①所在地（交通情報含む）	埼玉県熊谷市池上地内 国道 17 号バイパス及び国道 125 号交差部 用地は圃場整備による創設非農用地を取得予定（令和 5 年度） 前面交通量（約 58,000 台/日）	
②敷地面積	面積 約 67,000 ㎡ （駐車場：約 25,600 ㎡（約 400 台）、緑地：約 27,700 ㎡（一部調整池と重複）、調整池：約 11,600 ㎡、建築面積：約 6,100 ㎡）	
③土地利用上の制約	市街化調整区域 容積率 200% 建蔽率 60%	
④所有者	市（令和 5 年度取得予定）	
⑤周辺施設等	ラグビーワールドカップ 2019 も開催された、年間 100 万人が訪れる、熊谷スポーツ文化公園に近接	
⑥対象地周辺の環境	熊谷市東部の国道 17 号バイパス及び国道 125 号の交差部に位置し、交通利便性が高い。また、年間 100 万人の利用者を誇る、熊谷スポーツ文化公園に近接していることから、道路利用者以外の需要も大きく見込める環境である。	
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	市内環状道路の整備も進んだことから、市内からのアクセスも容易である。	
(3) 対象施設		
(3) -1. 建物	既存	整備後（予定）
①施設名称		（仮称）道の駅「くまがや」
②施設の延床面積		約 6,100 ㎡
③建物の構成（構造、階数）		木造 軸組工法 1 階
④主な施設の内容、 導入機能		駐車場、トイレ、ベビーコーナー、農産物直売所・加工品販売所、飲食施設（レストラン・フードコート・カフェ）、農産物加工・流通施設、観光総合案内所、屋内遊び場、多目的室兼調理室、屋外遊び場、農園、管理施設（事務室・更衣・休憩室・空調室・職員用トイレ）、防災施設、調整池、緑地
⑤運営状況 （運営主体、事業手法 等）		PFI-BTO SPC 設立予定

⑥その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		国道管理者である国（大宮国道事務所）との一体型道の駅となる予定。
(3) -2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後（予定）
①施設名称		
②規模、能力 等		上下水道、電話、周辺道路、関連交差点等、公共で整備予定。
③運営状況 (運営主体、事業手法 等)		
④その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		

- 添付資料
- 参考 URL

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/sangyo/toubutiikikaihatus/oshirase/michinoeki-kumagaya.html>